

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成22年3月11日 (2010.3.11)

【公開番号】特開2009-86799(P2009-86799A)

【公開日】平成21年4月23日 (2009.4.23)

【年通号数】公開・登録公報2009-016

【出願番号】特願2007-253027(P2007-253027)

【国際特許分類】

G 0 6 K 19/077 (2006.01)

G 1 1 B 23/30 (2006.01)

G 0 6 K 19/07 (2006.01)

G 1 1 B 7/24 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 19/00 K

G 1 1 B 23/30 B

G 0 6 K 19/00 H

G 1 1 B 7/24 5 7 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月26日 (2010.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ICチップに記録された情報を無線で送信するRFIDタグであって、
アンテナとICチップとを備えるタグアンテナと、

基材と、を備え、

前記基材の重心位置に開口部があり、

前記タグアンテナの重心軸と、前記基材の開口部の中心とが一致することを特徴とするRFIDタグ。

【請求項 2】

前記ICチップは前記アンテナに接続されていて、前記アンテナのICチップが接続されている領域の近傍のアンテナ幅が、前記アンテナの他の領域のアンテナ幅より狭くなっていることを特徴とする請求項 1 に記載のRFIDタグ。

【請求項 3】

前記アンテナは、切り欠きを有する略円環であって、当該アンテナの、基材の開口部の中心に対して当該切り欠きの点対称に位置する領域のアンテナ幅が、前記アンテナの他の領域のアンテナ幅より狭くなっていることを特徴とする請求項 1 に記載のRFIDタグ。

【請求項 4】

前記アンテナは、切り欠きを有する略円環であって、

前記アンテナの端部が、前記アンテナの他の部分よりアンテナ幅が広がっていることを特徴とする請求項 1 に記載のRFIDタグ。

【請求項 5】

前記アンテナは前記ICチップ実装位置を境界とする互いに長さの異なる第1アンテナと第2アンテナで構成されることを特徴とする請求項 1 に記載のRFIDタグ。

【請求項 6】

前記第 1 アンテナは、前記 IC チップとのインピーダンス整合回路を有し、当該インピーダンスマッチング回路は前記第 1 アンテナに形成されたスリットと、当該スリットによって形成されたスタブによって構成されることを特徴とする請求項 5 に記載の RF ID タグ。

。

【請求項 7】

動作周波数の波長を λ としたとき、前記第 1 アンテナの電氣的長さが $\lambda / 4$ 長以下であることを特徴とする請求項 5 または 6 に記載の RF ID タグ。

【請求項 8】

動作周波数の波長を λ としたとき、前記第 2 アンテナ長が電氣的長さが $\lambda / 2$ 長であることを特徴とする請求項 5 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の RF ID タグ。

【請求項 9】

IC チップに記録された情報を無線で送信するアンテナ付きメディアディスクであって、前記アンテナと前記 IC チップの合成重心と、前記メディアディスクの回転軸とが一致していることを特徴とするメディアディスク。

【請求項 10】

前記アンテナの IC チップが搭載されている領域の近傍のアンテナ幅が、前記アンテナの他の領域のアンテナ幅より狭くなっていることを特徴とする請求項 9 に記載のメディアディスク。

【請求項 11】

前記アンテナは、切り欠きを有する略円環であって、当該アンテナの、メディアディスクの回転軸に対して当該切り欠きの点対称に位置する領域のアンテナ幅が、前記アンテナの他の領域のアンテナ幅より狭くなっていることを特徴とする請求項 9 に記載のメディアディスク。

【請求項 12】

前記アンテナは、切り欠きを有する略円環であって、前記アンテナの端部が、前記アンテナの他の部分よりアンテナ幅が広がっていることを特徴とする請求項 9 に記載のメディアディスク。

【請求項 13】

前記アンテナは前記 IC チップ実装位置を境界とする互いに長さの異なる第 1 アンテナと第 2 アンテナで構成されることを特徴とする請求項 9 に記載のメディアディスク。

【請求項 14】

前記第 1 アンテナは、前記 IC チップとのインピーダンス整合回路を有し、当該インピーダンスマッチング回路は前記第 1 アンテナに形成されたスリットと、当該スリットによって形成されたスタブによって構成されることを特徴とする請求項 13 に記載のメディアディスクタグ。

【請求項 15】

動作周波数の波長を λ としたとき、前記第 1 アンテナの電氣的長さが $\lambda / 4$ 長以下であることを特徴とする請求項 13 または 14 に記載のメディアディスク。

【請求項 16】

動作周波数の波長を λ としたとき、前記第 2 アンテナ長が電氣的長さが $\lambda / 2$ 長であることを特徴とする請求項 13 乃至 15 のいずれか 1 項に記載のメディアディスク。